

日本循環器理学療法学会雑誌 投稿・執筆規定

1. 本誌は日本循環器理学療法学会の機関誌として、循環器理学療法に関連する学術領域の研究を公表し、循環器理学療法の発展に寄与することを主な目的とする。
2. 日本循環器理学療法学会の記録や資料などを掲載する。
3. 本誌は和名「日本循環器理学療法学会雑誌」、略記名「循環器理学療法学」、英名「Journal of Japanese Cardiovascular Physical Therapy」、略記名「JCPT」とする。
4. 投稿論文の種類:
 - ①研究論文(原著):新規性および独創性があり、明確な結論を示した論文。
 - ②症例研究:症例の臨床的問題や治療結果について科学的に研究を行い、考察を行った論文。
 - ③短 報:研究の速報・略報として簡潔に記載された短い研究論文。
 - ④そ の 他:システムティックレビュー、症例報告、実践報告、調査報告など編集委員会で掲載が適切と判断された論文および記事。(なお、症例報告とは症例の治療および経過などについて論理的に提示し、考察を行ったもの。実践報告とは、理学療法の研究・教育・臨床等の実践の中で、新たな工夫や介入、結果等について具体的かつ客観的に情報提示し、その内容が有益と判断されたもの)
5. 投稿者の資格
本誌への投稿は、筆頭著者は本会の会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りでない。
6. 投稿原稿は、未出版かつ他誌に投稿中の原稿でないこと。本規程および執筆規程にしたがって作成すること。
7. 投稿承諾書:著者の論文への責任および著作権譲渡の確認のため、別紙^{*1}の投稿承諾書に自筆による署名をして提出すること。
8. 著作権:本誌に掲載された論文の著作権は、日本循環器理学療法学会に属する。また、本誌に掲載された論文はオンライン公開される。
9. 利益相反:利益相反の可能性がある事項(コンサルタント料、株式所有、寄付金、特許など)がある場合は本文中に記載すること。なお、利益相反に関して、日

本理学療法学会連合ホームページ利益相反(COI)の開示について(<http://jspt.japanpt.or.jp/shinsa/coi/>)に従い、著者(全員)は、利益相反に関わっていない場合でも、書類^{*2}を提出すること。

10. 研究倫理:ヘルシンキ宣言および厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に基づき対象者の保護には十分留意し、説明と同意などの倫理的な配慮に関する記述を必ず行うこと。また、研究にあたり、所属研究機関あるいは所属施設の倫理委員会ないしそれに準ずる機関の承認を得ることを必須とし、倫理審査委員会名および承認番号(または承認年月日)を必ず記載すること。なお、倫理審査委員会より承認の非該当となった場合には、その旨を記載する。
11. 原稿の採否および掲載について:投稿原稿の採否および掲載順は、複数の査読者の意見を参考に編集委員会が査読結果に基づいて決定する。日本循環器理学療法学会にて発表し、座長より推薦を受けて、投稿された論文についても、編集委員会が査読結果に基づいて採否を決定する。依頼原稿については、編集委員会が必要に応じて修正、削除、加筆等の原稿訂正を求めることがある。原稿訂正を求められた著者が、原稿を返送された日より60日以内に再提出しない場合は、投稿を取り下げたものとする。なお、特別な理由で延長する場合は必ず事務局に連絡すること。
12. 介入を伴う臨床試験においては、臨床試験を開始する前に医学雑誌編集者国際委員会:生物医学雑誌への投稿のための統一規定(<http://www.icmje.org/recommendations/>)の基準を満たす登録サイト(例:UMIN-CTR等)へ登録し、登録IDを記載しなければならない。
13. 校正:著者校正は原則として1回とし、誤字脱字を除く文章および図表の変更は原則として認めない。
14. 掲載料は、筆頭投稿者、共著者ともに日本理学療法士協会会員について規定枚数以内は無料とする。ただし、規定枚数を超過した場合は、超過分に要した費用を徴収する。また、筆頭投稿者あるいは共著者に理学療法士の免許を有する日本理学療法士協会の非会員が含まれる投稿は、審査料と掲載料を徴収する。詳細は別紙1に定める。
15. 論文の構成
 - 1) 標題(表題):内容を具体的かつ的確に表し、でき

るだけ簡潔に記載する。原則として略語・略称は用いない。

2) 著者名: 著者は当該研究・執筆に寄与する人を必要最小限に記載する。審査開始後の著者の変更は原則認めない。

3) 要旨: 「目的」「方法」「結果」「結論」について項を分けて簡潔に記載する。また、研究論文(原著)、短報以外の記事の種類の論文においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

4) キーワード: 3 ~ 5 つとする。

5) 本文: 本文は原則以下の項目に沿って本文を構成すること。ただし、研究論文(原著)、短報以外の記事の種類の論文においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。

①はじめに(序論, 緒言)

研究の背景, 臨床的意義, 研究の目的, 取り扱っている主題の範囲, 先行研究との関連性の明示などを記述する。

②対象および方法

用いた研究方法について第 3 者が追試できるように記述する。倫理的配慮も記述すること。

③結果(成績)

研究で得られた結果を本文および図表を用いて記述する。データは、検証, 追試を行いやすいように図(グラフ)よりも表にして数値で示す方が望ましい。

④考察(分析)

結果の分析・評価, 今後の課題, などを記述する。

⑤結論

研究で得られた結論を 200 ~ 300 字で簡潔に記述する。

⑥利益相反

利益相反の有無について記載する。

⑦謝辞

著者資格には該当しない研究への貢献者については謝辞に記載する。

16. 投稿原稿の構成

本文, 図表, 図表の説明文, 補遺(Appendix)で構成する。

17. 原稿の規程分量

研究論文(原著), 症例研究, システマティックレビューは、要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 8 頁(400 字詰め原稿用紙 40 枚・

16,000 字相当)。短報は要旨・英文要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 4 頁(400 字詰め原稿用紙 24 枚・9,600 字相当)。その他は要旨・文献・図表を含んで原則として刷り上がり 6 頁(400 字詰め原稿用紙 32 枚・12,800 字相当)。図表は、刷り上がり 1/4 頁大のもの 1 個を 400 字詰め原稿用紙 1 枚として換算すること。

18. 要旨

論文には和文の要旨(400 字程度)をつける。また、研究論文(原著), 症例研究および短報には 250 語程度の英文要旨をつけること。

19. 図表

図・写真・表: 図・表は本文に出てくる順に、それぞれ一連番号をつける。グラフィック表現および写真は図に含める。図の番号および表題は図の下に、表の場合は表の上につける。図・表の転載は投稿前に著者の責任で転載許可をとり、投稿時に許可書を提出すること。図表の説明(キャプション)は図表の後に頁をあらたにして記載すること。スライド図・表は投稿用に作成し直す。

20. 文献

引用文献は本文の引用順に並べる。雑誌の場合は著者氏名, 論文題目, 雑誌名, 西暦年号, 巻, 頁(最初-最終)の順に書き, 単行本の場合は著者氏名, 書名, 編集者名, 発行所名, 発行地, 西暦年号, 頁を記載する。文献名の省略は, Index Medicus などの方法にしたがうこと。引用文献の著者氏名が 4 名以上の場合は最初の 3 名を記載し, 他は「・他」または「et al.」とする。

『例』

1) 山本周平, 石田昂彬, 三澤加代子, 他: 代謝当量は安静時ならびに運動時の心拍数から推定可能か?. 理学療法ジャーナル.2018;52(4):372-377.

2) Kazuki Hotta, Wayne B Batchelor, James Graven, et al.: Daily Passive Muscle Stretching Improves Flow-Mediated Dilation of Popliteal Artery and 6-minute Walk Test in Elderly Patients with Stable Symptomatic Peripheral Artery Disease. Cardiovascular revascularization medicine: including molecular interventions. 2019; 20(8) 642-648.

- 3) 田畑稔:循環機能と運動療法, 運動療法学, 対馬栄輝(編), メジカルビュー社, 東京, 2020, pp. 153-180.
- 4) 厚生労働省ホームページ研究に関する指針について
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>
(2021年10月01日引用)

21. 数量の単位

単位は原則として国際単位系(SI 単位)を用いる。長さ:m, 質量:kg, 時間:s, 温度:°C, 周波数:Hz 等。

22. 略語

略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。

23. 機器名の記載法

機器名は,「一般名(会社名, 製品名)」で表記する。
なお, 統計ソフトは「製品名, バージョン番号, 会社名」とする。

24. その他

- 1) 必要がない限り表に縦線は使用しないこと。
- 2) 表・図(写真を含む)の挿入位置は本文の右欄外に指示する。
- 3) 本文には行番号およびページ番号を必ず記載する。

論文投稿先

E-mail: journal@jscvpt.jspt.or.jp

日本循環器理学療法学会 機関誌編集委員会
委員長 田畑 稔(東京保健医療専門職大学)

問い合わせ先(編集事務局)

E-mail: journal@jscvpt.jspt.or.jp

日本循環器理学療法学会雑誌 編集事務局

付則

この規定は, 2021年12月10日より施行する。

日本循環器理学療法学会 機関誌編集委員会